

ニュースから考える

「みりん」が 10%で「みりん風」だと 8%など・・分かりづらいことが沢山あるとの消費者の不満をマスコミ各社が報じていますが・・増税による消費低迷を避けるため「キャッシュレス・ポイント還元事業」を政府が実施している事に皆さん関心が薄いようです。仕組みを簡単に説明すると・・



中小企業から（10月～6月末までの期間）キャッシュレス（カード、電子マネー等）で買物すると国が 5%～2% のポイントを戻してくれます。

ちょっとまって！ 「楽天、WAON などポイントが貰えるのは分かるけど・・何で国がポイン

トをくれるのか理解できない」と思われる方もおられるでしょうが・・増税による中小企業への影響を最小限に抑えるための政策です。

大企業が経営する大手スーパーなどで買物してもポイント還元の恩恵はなしです。また、買物と言っても・・「新築住宅」と「車（新車・中古車）」及び換金性の高いもの（切手、商品券など）を除くすべての商品・サービスが対象と幅広くなっています。コンビニやマック、居酒屋などもFC形式で中小企業が経営していますのでポイント還元対象です。ポイント還元が利用できるお店は「左の表示」が目印です。

今回の税率アップは2%ですが・・中小企業から買うと5%がキャッシュバックがあるからこの店で買おうというのが定着するといいですね・・。

1分でわかる業務カイゼン

世界の流れはキャッシュレス

9月24日中国の中央銀行が記者会見で主要国では初となるデジタル通貨（デジタル人民元）の発行準備を加速すると発表しました（ビットコインなどとは違います）。法定通貨である紙の人民元とデジタル人民元はスマートフォンを通じて交換、お金のやり取りが簡単になるとの事で、紙や貨幣などの実物が無くなる第一歩となるのでしょうか？

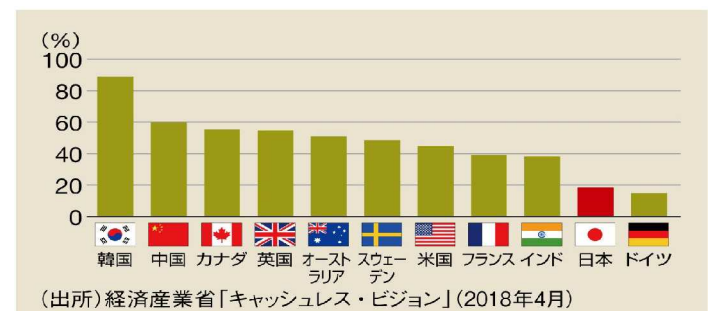


また、世界的な流れの一つに高額紙幣の廃止があります。インドで2016年11月8日にモディ首相が夜の8時15分に緊急テレビ会見を行い、最高額紙幣である1000ルピー（日本円で1700円程度）紙幣などを約4時間後から利用不可とし、年末までに銀行などに預けなければ紙屑になると宣言しました。

汚職や犯罪に使われたお金を銀行に預けなければ無価値とする強硬策に出たのです。

もちろんいわゆる綺麗なお金は何の問題はありません・・。お金に縁の無い私は考えませんが・・床下などにお金を隠すのは世界共通なのかもしれません。

世界のキャッシュレス事情



先ほど紹介した、中国、インドは勿論ですが主要国ではキャッシュレス化が進んでいます。日本人の特性なのか・通貨への絶大な信頼なのか・私たちはお金を手元(貯金含む)におきたい国民のようです。とは言え・財布の中身ですが・キャッシュカードが数枚、ポイントカードも数枚、それに加えスマホにもカード情報、ポイント情報が多すぎ・しかも ID、パスワードと頭がぐ混乱し不便なので一つにまとめて欲しいとの希望もあります。

「令和おじさん」の名案？

菅官房長官が 2019 年 9 月 8 日にブログで発信した情報です。

今週、私、官房長官が議長を務めるデジタル・ガバメント閣僚会議において、マイナンバーカード普及策を決定しました。(中略) 今回、**2022年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを想定**した具体的な全体スケジュールや、保険者、医療機関等、市町村における時期ごとの具体的な取り組み方針について**決定いたしました。**



政府の考えでは、身分証明書であるマイナンバーカードに「運転免許証」、「健康保険証」などの機能を付加してほとんどの日本国民に普及させキャッシュカード機能、ポイント機能、クレジット機能などがつかえる一枚で済む未来像を描いています。

そうすると今のようにパンパンの財布の中がすっきりする・いやそもそも財布がなくなり一枚のカードですべてが済む時代がやって来るのかも知れません。当然、賄賂や強盗、「オレ、オレ」詐欺などの犯罪も少なくなるでしょう。

マイナンバーの導入、税務申告・社会保障制度への活用に加え、お金がどこにあるか何らかの足跡がつくキャッシュレス社会となり政府に監視されると感じるか、犯罪や不正の無い公平・公正な社会が実現すると考えるかは人それぞれです。しかし、普通に生活している私たちには何の問題はなさそうですが・世の中の流れの遅れないよう頑張りたいですね！

事務所からのお知らせ

会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知り合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。

今月の経営のヒント : 消費税率アップで「給料」が目減りします・・・



今月のことば

お金は不思議なものだ。

持っていない人は持つことを熱望し、

また持っている人はそのせいで多くのトラブルに見舞われる・・・

アイルトン・セナ (元 F1 レーサー 故人)

編集後記:

「もう無理。」「できない」にさよなら・・・。「よく眠れる」「疲れにくい」毎日でいきいきとした自分を実感・・・。「ひざ、肩、腰」の痛みに効く・・・。「肩・首」の負担を気にせず眠れるように・・・。今日、見ている新聞にのっている別々の商品の PR コメントです。

すべて自分に当てはまるので興味が湧くものばかりですが・・・この新聞を見ているほとんどのひとが同じように考えていると仮定すると全ての人に共通する老化によるものだと気づきました。

て・・・事は自分だけよくなるという上手い方法はなさそうですね！

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合 (TKC が証明するデータを使用しています)

最近 1 年間 : 66.7%

(国税局の発表によると法人の黒字割合は 33.2% (28 年 4 月 ~ 29 年 3 月) です)